



2024年11月23日
宮崎県綾町
公益財団法人イオン環境財団

綾町・公益財団法人イオン環境財団 里山の新たな価値創造に向けた包括連携協定締結

宮崎県東諸県郡綾町（町長 松本俊二）と公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長 以下 当財団）は、綾町イオンの森における里山の新たな価値創造に向けた包括連携協定を締結いたします。

日本最大規模の照葉樹林が広がる綾町は、2012年ユネスコエコパークに登録されました。当財団は、2013年から3年間、綾中学校建設のために杉が伐採された跡地を、本来の里山に再生するための植樹を実施しました。また日本ユネスコエコパークネットワークと連携協定を締結したことを契機に、2017年からは人と自然の共生を目指す里山づくりのため、累計2万本の植樹を実施しました。

また、植樹から10年以上経過し、この森が環境教育や里山の恵みを活かした伝統文化の学習フィールドとして、学生や地域の皆さまに活用されています。生物多様性保全や炭素蓄積量調査、成長した木々の枝打ち、草木染めを含めた環境活動を実施しています。

イオン環境財団は、2013年よりこれまで綾町と共に「綾町イオンの森」を中心に、生物多様性保全のため多様な環境活動に取り組んで参りました。2024年「綾町イオンの森」と「割付地区の日向夏畑」が環境省「自然共生サイト」に登録されました。同エリアは、綾ユネスコエコパークの移行地域であり、今後、持続可能な地域社会構築のため、また、生態系サービスを支えていくため、人と自然が共生する新たな里山の創出を目指し今回、両者は連携することに至りました。

連携事項

- ① 生物多様性保全と持続可能な利活用のための里山づくりの推進
- ② 地域の伝統文化継承と新たな文化創造を含めた環境教育の実施
- ③ 「綾町イオンの森」を中心とする自然共生サイトの拡大

協定期間

2024年11月23日～2029年11月22日（5年間）

以上

【自然共生サイト認定について】

2024年10月、「綾町イオンの森」と隣接する「割付地区の日向夏畑」が、環境省により「自然共生サイト」に認定されました。今回の認定は、「綾町イオンの森」に植樹したヤマザクラなどの花木がニホンミツバチなど受粉媒介の昆虫を育み、森の東側に広がる綾町割付地区の「日向夏畑」に実りをたらしめていることや、希少な動植物が生息生育していることなどが評価されたものです。認定サイトは、綾ユネスコエコパークの移行地域（※1）に位置しており、また、同サイトに認められた区域（保護地域との重複を除く）は今後「OECM」（※2）として、国際データベースに登録される予定です。

※1 「移行地域」：人が生活し、自然と調和した持続可能な発展を実現する地域

※2 Other Effective area-based Conservation Measures：保護地域以外で生物多様性保全に資する区域



草木染め



炭素蓄積量調査

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社 名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに万里の長城での植樹をはじめとする「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業活動を中心に活動し、現在は持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

■「植樹」事業

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。当財団の植樹を含むイオン全体の植樹の累計本数は、約1,268万本（2024年2月末現在）となります。

■「助成」事業

世界各地で環境活動に積極的に取り組む非営利団体に対して、毎年総額1億円の助成支援を行っています。2023年までの33年間で累計の支援は3,436団体、助成金額は31億946万円となりました。現在は、「里山 commons の再生」をテーマに、里山（里地・里川・里海・里湖）の保全と利活用を推進している団体を支援しています。

■「環境教育・共同研究」事業

様々な専門機関と連携し、里山に関する共同研究を行うとともに、環境分野で活躍する人材を育成していくためのプログラムを実施しています。

大学連携では、早稲田大学、東京大学、東北大学、京都大学、千葉大学と地域が求める里山づくりを推進しています。国連大学とはグローバルで活躍する環境リーダーを育成するプログラムをスタートしました。

また、日本ユネスコエコパークネットワーク、日本ジオパークネットワークとは、生物多様性や地質遺産の保全と利活用との調和による持続可能な地域社会を目指し、教育や啓発活動で連携しています。

■「顕彰」事業

生物多様性条約事務局(The Secretariat of the Convention on Biological Diversity)と連携し、当財団の設立20周年であった2010年の「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」日本開催を契機に「The MIDORI Prize for Biodiversity 生物多様性みどり賞」を創設しました。顕著な環境活動が認められる個人を顕彰するもので、これまでに17カ国19名の個人を顕彰しています。

【宮崎県 綾町】「てるはの森の会」第3回生物多様性日本アワード（2013年）優秀賞受賞
綾の照葉樹林プロジェクトは、九州森林管理局、宮崎県、綾町、（公財）日本自然保護協会、
てるはの森の会の5者が協働して、約1万 ha のエリアにおいて国内最大面積の照葉樹林（約
2500ha）を保護しているプロジェクト。二次林や人工林を照葉樹林に復元すること、自然と共生
した地域づくりを支援することを目的としている。日本の国有林では、2例目となる官民学協働
プロジェクトの運営を担う事務局で、プロジェクトと市民を結ぶ窓口として、ボランティアと共
に間伐体験、ガイド事業、林床調査、研究フォーラム等の多くの活動を行っている。

【本件に関するお問合せ先】

公益財団法人イオン環境財団 広報担当 天野・菅原 TEL：043-212-6022